

press release

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

2018年8月30日(デンマーク現地時間:2018年8月17日発表)
PRESS-18-20

ノボ ノルディスク社が、8月17日に発表したプレスリリースの翻訳版です。内容や解釈については正式言語である英語が優先されます。英文オリジナル版は、[こちら](http://novonordisk.com)(novonordisk.com)をご参照ください。

ノボ ノルディスク、グルコース応答性インスリンの開発加速に向けて Ziylo 社を買収

- ノボ ノルディスクが Ziylo 社を段階的に買収し、同社の開発初期段階のグルコース結合分子に関する権利を全面取得。買収総額は8億ドルを超える可能性がある。
- この買収により、ノボ ノルディスクが行うグルコース応答性インスリン^{*a} 開発が促進される。
- Ziylo 社から独立した研究開発子会社 Carbometrics 社が、ノボ ノルディスクと共同でグルコース結合分子の最適化研究に取り組む。
- Carbometrics 社は、グルコース結合分子を非治療用途全般(診断および血糖測定を含む)に使用する独占的権利を有している。

英国 Ziylo 社とノボ ノルディスクは、ノボ ノルディスクが Ziylo 社の全株式を取得したことを発表しました。Ziylo 社は英国ブリストル大学から独立した会社で、研究開発支援施設 Unit DX 内に本部を置いています。Ziylo 社は、自社のプラットフォーム技術である合成グルコース結合分子をいち早く治療・診断に応用した先駆者の企業です。

本買収により、ノボ ノルディスクは、Ziylo 社のグルコース結合分子プラットフォーム技術を使用してグルコース応答性インスリンを開発する権利を全面取得しました。グルコース応答性インスリンの開発はノボ ノルディスクにとって重要な戦略領域です。同社はより安全で効果的なインスリン療法の確立を目指してこの次世代インスリンの開発に取り組んでいます。グルコース応答性インスリンは低血糖リスクの解消/軽減に役立つ可能性を秘めています。低血糖はインスリン治療に伴う最も代表的なリスクであり、最適な血糖コントロールを妨げる要因になります。グルコース応答性インスリンによって代謝コントロールも改善する可能性があり、糖尿病患者さんの負担軽減に役立つことが期待できます。

買収合意前の時点で、Ziylo 社は Carbometrics 社という新会社を設立しており、研究開発活動の一部をこの会社に振り分けていました。Carbometrics 社はノボ ノルディスクと共同研究を締結し、グルコース応答性インスリンへの使用を目的としてグルコース結合分子の最適化に継続的に取り組むことで合意しました。Carbometrics 社は、主に持続血糖測定への応用を目的として、グルコース結合分子を非治療用途に開発する実施権(ライセンス)を取得しています。

Ziylo 社が開発したグルコース結合分子は「合成分子」と呼ばれるもので、英国ブリストル大学のアンソニー・デイビス教授が設計しました。安定した性質を持つ合成分子で、血液中などの複雑な環境下で、グルコースに対して前例のない優れた選択性を示します。ノボ ノルディスク が開発してきた最先端のインスリン技術がこの技術と組み合わせることで、世界初のグルコース応答性インスリンを実現し、糖尿病治療を変革することを目指しています。

ノボ ノルディスクのグローバル新薬開発部門担当のシニアバイスプレジデントであるマーカス シンドラーは次のように述べています。「Ziyo 社の皆さんが発見したグルコース結合分子と、ノボ ノルディスクが持つ世界トップクラスのインスリン開発能力を組み合わせることで、低血糖リスクの解消／軽減と、糖尿病患者さんの最適な血糖コントロールにつながるグルコース応答性インスリン開発の実現が期待できると考えています」

Ziyo 社の共同設立者で CEO のハリー デステクロワ博士は次のように述べています。「当社が開発したグルコース結合分子をグルコース応答性インスリンと糖尿病治療領域に応用し、その可能性を最大限に引き出し、真に画期的な治療法を実現し、糖尿病患者さんに提供するという意味で、ノボ ノルディスクは理想的な会社です。同社は糖尿病領域のリーダーであり、臨床開発と規制対応に精通しており、患者さんに重要な新治療法を提供するために必要な営業体制も併せ持っています」

ノボ ノルディスクは、本買収で Ziyo 社の全株式を取得しました。取得価額の一部は前払い、残りはマイルストーン達成毎の支払いとし、最終的な買収総額は 8 億ドルを超える可能性があります。マイルストーンの基準は、ノボ ノルディスクが指定する一定の開発目標達成時、規制対応完了時、売上目標達成時としています。

Ziyo 社について

Ziyo 社は、第 3 の「バイオミメティック(生体模倣)」クラスのグルコース結合分子(GBM)を開発した超分子化学会社です。グルコース結合分子は、持続血糖測定器(CGM)等の医療機器やグルコース応答性インスリン(GRI)等の治療法を支える重要な要素になる可能性を秘めています。英国ブリストル大学のアンソニー デイビス教授のグループが、自然界の糖結合分子(レクチン)に着想を得て 20 年以上にわたって進めてきた最先端の研究がこのプラットフォーム技術の基になっています。Ziyo 社の設立メンバーは、アンソニー デイビス教授(同社取締役)、トム スマート氏(同 CFO)、ハリー デステクロワ博士(同 CEO・創業者、デイビス教授の研究室で博士号を取得)の 3 氏です。このほかに、経験豊富な事業家であるキース マクドナルド氏(同会長・筆頭株主)、Ziyo 社研究開発リーダーのアンドリュー チャップマン博士(同 CSO)らが取締役会に名を連ねています。外部顧問会社の Colpman Consulting 社が営業活動の主任アドバイザーを務めていました。買収合意前の時点で、Ziyo 社の経営陣・取締役会は Carbometrics 社という新会社を設立していました。Carbometrics 社は、Ziyo 社のグルコース結合分子を診断・連続血糖測定用途に開発する独占的権利(ライセンス)を有しています。同社は研究開発施設 Unit DX 内で開発活動を継続する予定です。詳細は www.carbometrics.com をご覧ください。

*^a グルコース応答性インスリン:

グルコース応答性インスリンとは、血糖値に応じて作用するもので、血糖値が上昇した時のみ活性化します。血糖値が正常な時は、不活性な状態になります。このような作用の仕方により、低血糖のリスクが最小化されます。

ノボ ノルディスク社は、デンマークに本社を置き、95 年以上にわたり糖尿病治療に必要な革新的な医薬品の開発を通じて糖尿病ケアの革新をリードしてきました。糖尿病の克服を目指して培ってきた経験や能力は、肥満、血友病、成長障害といったその他の重篤な慢性疾患の領域にも活かされています。ノボ ノルディスク社は現在 79 カ国に約 4 万 3,100 人の社員を擁し、製品は 170 カ国以上で販売されています。日本法人は 1980 年に設立されました。